



ふきのとう便り

～一人はみんなのために みんなは一人のために～

2010年1月1日発行 NO.2 新年号

社会福祉法人 ふきのとう

天理市柳本町 2036 番地 1 TEL 0743-67-1099

編集責任者 植田 豊



全国大会で銅メダル!!



牟礼教子さんが10月に開催された第9回全障害者スポーツ大会「トキメキ新潟大会」を卓球の奈良県代表として出場し、銅メダルを獲得しました。おめでとうございます。ふきのとうはこれからもスポーツやダンスに力を入れていきます。

新春 ケアホーム特集!!



ケアホームの歴史は
ここから始まった!!

グループホーム
桜草(女性)



新年にあたり思うこと 松田百合子

2010年の新年を皆様いかがお迎えになられたでしょうか。

あらためて 新年あけましておめでとうございます。昨年2009年は、施政者によって「裏切られ続けてきた政治」に国民が「NO」を突きつけた年でした。「小手先だけの言葉だけのカッコつきの変革」ではなく「ほんまものの改革に手が付けられる・ほんまものの改革が実現する期待感」が「閉塞感で封じ込まれていた私達の心」に「一筋の光」を注ぎ「今までにない高揚感」を感じさせてくれた年でした。

新しい年の年頭にあたり思うことは「今年はどんな年になるのかと想像することと、私達はそのため何をするべきなのか」を「ぶれないで持っていたい」ということ



いただき(男性)

です。さて、ふきのとう便りですが、第2号を出すにあたり、「ケアホーム」について、「ケアホームを作った動機」「現状」「将来像(夢)」

を400字で書くように「課題」を与えられました。・たった400字で書けないですね。1997年の開設以来、コロコロ変わる中央省庁の「机上のデザイン」によって存亡の危機に陥ったのは1度や2度ではないですし、某団体等の妨害や嫌がらせ(?)は5本の指では数えきれないでしょうし、何より制度の不備は10年前も今も変わっていません。住む家は誰が用意するのですか?そのお金はどうするのですか?家賃や光熱費・食費に障害年金を全額使う生活が快適で楽しい生活ですか?本当に入りたい人、入った方がいい人が入れないのが、今の制度だと思っています。問題ははまだ山積、何も進んでいません。・・・

「グループホームとは何なのか」「日本におけるグループホームのあるべき姿は?」等これからも追い求め続けていきたいと思っています。

ということで、「課題」については紙数上、全く触れることができませんでした。「グループホームを作った動機」「ケアホームふきのとう」と名前を変えざる



第二桜草(女性)

を得なかった「グループホームの現状」「将来像」を私達の展開している「グループホーム桜草」(1997年開所)「グループホームいただき」(旧あらぐさ2002年開所2005年再開)「グループホーム第2桜草」(2003年開所)を紹介しながら、改めて、10年の歩みを振り返ってみたいと思っています。

ケアホームでの楽しみ 田島 邦彦

Q ケアホームにはいつはいましたか?

A 「平成18年3月に入り、今年4年目です」

Q 楽しいことは?

A 「仕事が終わってからテレビを見たり、旅行の計画をたてること」

Q 嫌なことは?



A 「ケアホームに泊まる人が増えると、おふろの時間が遅くなったり、順番がまわってこないこと」

Q これからケアホームでどんな生活をしたいですか？

A 「楽しく、けんかのないよい生活をおくること」

やりがいを感じた時 生活支援員大石佳與子

ふきのとうケアホームで働いてから早二年有余の月日が流れました。当初は、利用者さん一人一人の性格が把握できず、不安の連続でした。特に宿直当番日は、異常に緊張しました。月日を重ねる毎に利用者さんの個性がわかり、入浴、食事、そして就寝前のひと時を楽しく過ごせるようになり、共に過ごす時間に、時には笑いあり、涙あり、しみじみとした喜びを感じるようになりました。

やがて私は、思いを巡らすようになりました。この人達のお母さんは、そしてご家族は、本人に何を期待しておられるだろうか。そしてケアに勤しむ私達に何を求め期待しているのだろうか。

思案したうえ、私の結論は、小さなことですが、「ありがとう」とお礼の言える心と言葉でした。何度か言っているうちに、いつのまにか「ありがとう」と言ってくれました。私は涙がでました。この人達の心は純真なのだ痛感しました。

ある夜、Aさんが発熱しました。風邪もひいていないのに何かしらと戸惑いながら、濡れたタオルやアイスノンで冷やししながら私は思わず神様に祈りました。お陰で、数時間後解熱し、Aさんやら私の心の成長をさせて頂ける喜びを感じております。そして利用者さん一人一人に愛情が湧き、生活支援員の道を選んでよかったと感謝しております。

こんなことしています

(障害者支援センターふきのとう)



はばたき祭(9・27)

まだまだ遊び足りない...

吉野で柿狩り(11/20) 楽しい一時でした



おいしいお味噌が出来ますように



大豆選別



地域との交流をもっともっとひやしたい



ピースフェスティバル(11/28)

県の働きがい支援モデル事業所に選定

ふきのとうは、奈良県より「平成21年度働きがい支援事業」の10のモデル事業所の1つに選定されました。

ケーキ、みその販売を増やす工夫や、販売・在庫の管理による効率化、会計ルール等について、コンサルタント3名より指導を受けることになりました。ふきのとうをより良くし、メンバーさんの工賃を増やすための試みです。皆で協力し、推進しましょう。

AED設置

10月15日赤い羽根共同募金から、AED設置の助成を受けました。国内で非常に多い心臓突然死、その中で特に多いのが心室細動(心臓のけいれん)によるもので、発生した場合は、早期にけいれんを止めることが救命の鍵となります。AEDは、そのけいれんを止める機器です。地域住民の方にも広く周知し、活用していきます。

